

# 外国人児童生徒への 日本語学習支援の現状と課題

## 浜松日本語ネットワーク

### 浜松日本語ネットワークとは

- 学習支援活動を共同して推進していくために
- 浜松市の公立小中学校で外国人児童生徒のために放課後学習支援をしている4団体で構成

そらの会

龍の会

ジャボラNPO

にほんごNPO

# そらの会

- 2001年4月 当時の浜松市国際室の呼びかけに応じてボランティアが参集
- 浜松市高丘地区の瑞穂小学校で支援を開始し現在に至る
- 月曜日と水曜日14:30~16:00  
ボランティア5名が10名の子ども達に支援

3



- 【自分のことを 言えるように...授業への橋渡し】

1

りゅう

かい

# 龍の会

- 2002年4月 浜松市国際室の求めにより  
浜松市立竜禅寺小学校で支援を開始
- 当初は学齢期の不就学児童生徒への学習  
支援が中心
- 現在は竜禅寺小学校在校生への学習支援を  
火曜日と金曜日15:00～16:30

5

## 学習進度に合わせた支援



1

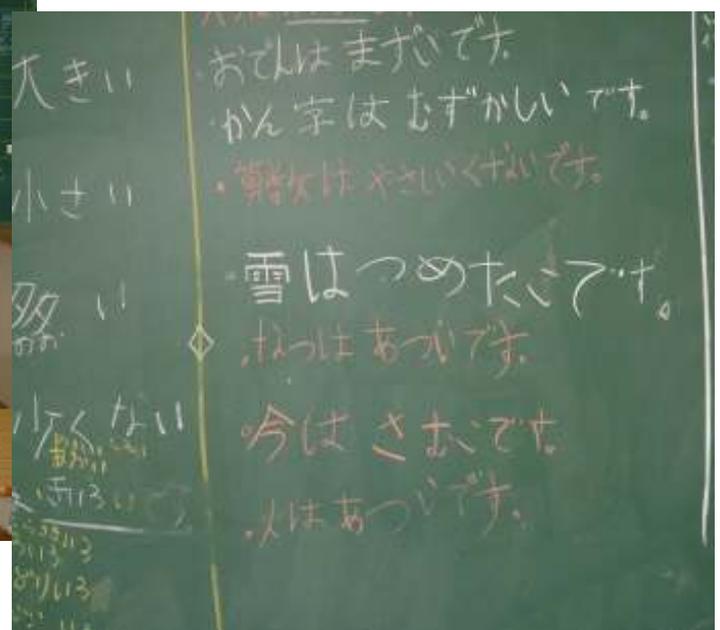
# NPO法人 日本語教育ボランティア協会

## ジャボラNPO Jyabora-ngo

- 2002年4月 浜松市国際室の求めにより  
ブラジル人学校ピタゴラス及び佐鳴台会館  
で支援を開始。
- 現在  
月曜日、佐鳴台公民館 15:00～17:00  
金曜日、入野小学校 15:00～17:00  
土曜日、入野公民館 15:00～17:00

7

## 入野小学校(冬休み特別教室)



# NPO法人 浜松日本語日本文化研究会 にほんごNPO

- 2001年12月設立  
市内の小中学校3ヶ所で放課後学習支援
- 遠州浜小学校 木曜日／金曜日
- 浜松市立大瀬小学校 木曜日／金曜日
- 浜松市立曳馬中学校 火曜日／水曜日

9



← 遠州浜小学校での支援風景

支援終了後、それぞれ担当した子どもの記録簿をつける →



## 浜松市立小中学校に通う外国籍児童生徒数

平成19年5月1日現在

年齢	浜松市における学齢期の子ども			浜松市立小中学校在籍数
	男	女	計	
6	216	177	393	1156
7	204	184	388	
8	186	201	387	
9	174	181	355	
10	165	152	317	
11	166	160	326	
12	151	135	286	402
13	119	128	247	
14	117	107	224	
合計	1498	1425	<b>2923</b>	<b>1558</b>

11

## 教育委員会による子どもへの学習支援

- 外国人支援のための教員加配
- バイリンガル支援員の学校への配置(瑞穂、佐鳴台、砂丘、遠州浜小学校に1人ずつ)
- 就学サポーターの学校への配置
- 指導相談員の学校訪問による指導
- はまっ子教室(日本語初期指導)への委託
  - 2,174.9万円(2008年度予算、事務費別途)
- 学習支援団体への助成
  - 各45万円(全体で180万円)

12

## はまっ子教室とは

### ■ 小学生日本語支援のための「はまっ子教室」

元城小学校, 萩丘小学校, 遠州浜小学校  
砂丘小学校, 北浜小学校 **95**名が通級

### ■ 中学生日本語支援のための「はまっ子教室」

元城小学校, 江南中学校 **44**名が通級

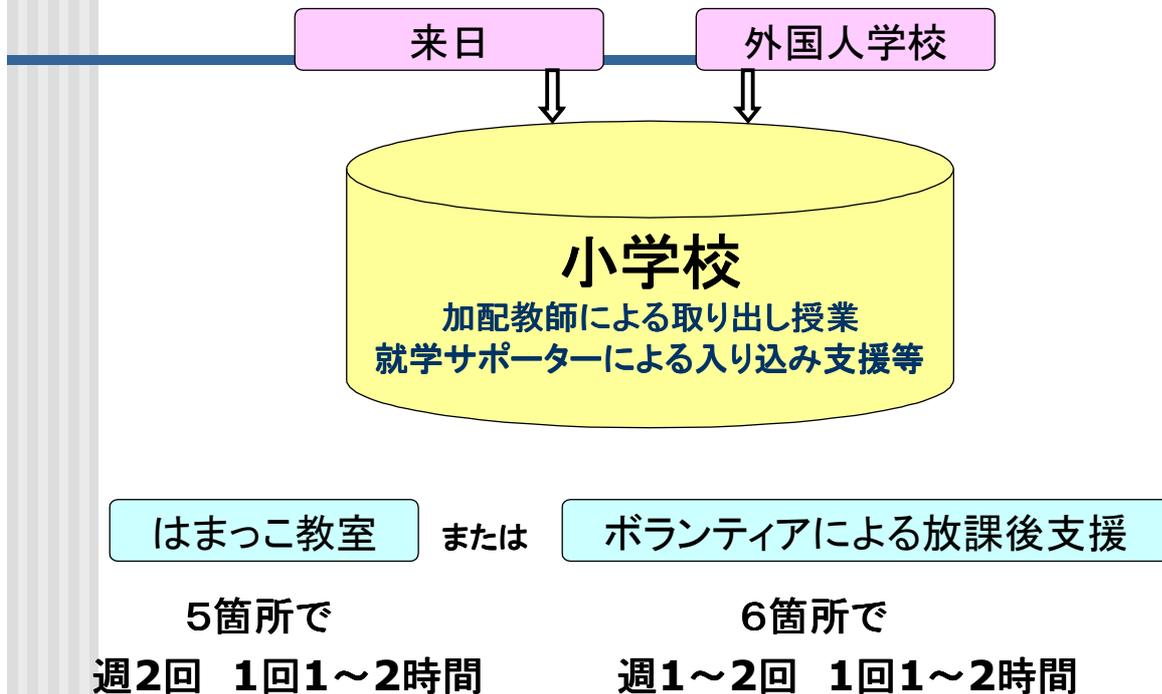
平成19年5月現在

13

## 浜松日本語ネットワークによる 外国人児童生徒への学習支援状況

団体名	支援場所	支援日	時間	支援者数 (1日当たり)	児童生徒 (1日当たり)
そらの会	瑞穂小学校	月・水	14:30~16:00	5	10
龍の会	竜禅寺小学校	火・金	15:00~16:30	9	19
ジャボラ NPO	入野小学校	金	15:00~16:30	6	13
	入野公民館	土	16:00~17:30	3	11
	佐鳴台公民館	月	15:00~17:00	4	9
にほんご NPO	遠州浜小学校	木	15:00~16:30	18	46
	遠州浜小学校	金	14:15~16:00	7	19
	大瀬小学校	木	14:15~16:00		
	大瀬小学校	金	14:10~16:00	3	3
	曳馬中学	火・水	15:30~17:30		
合計				55	<b>126</b>

# 外国籍児童への学習支援状況



15

## 支援が必要だと思われる学校

- 小学校(外国籍児童数)
  - 葵西小学校(46名)
  - 葵が丘小学校(41名)
  - 浅間小学校(40名)
  - 与進小学校(35名)
  - 和地小学校(35名)
  - 与進北小学校(22名)
- 中学校(外国籍生徒数)
  - 開成中学校(50名)
  - 佐鳴台中学校(29名)
  - 南陽中学校(21名)
  - 南部中学校(22名)
  - 与進中学校(20名)

平成19年5月1日現在

16

## 現在の支援体制における問題点

---

- 市内全地域がカバーできていない
- 経験を積んだ指導者が足りない
- 子供に対する日本語教育の知識が足りない
- ボランティアに頼る部分が多い
- 学校との連携が難しい
- 関連団体間の連携が不足
- 保護者の協力が得られない

17

## 子どもの側の問題点

---

- 入学前に集団生活を経験していない
- 母語が十分に発達していない
- 文字言語が身につけていない
- 学習意欲がない
- 自宅学習の習慣がない
- 勉強を見てくれる人がいない
- 日本の学校文化に溶け込めない

18

学校での日常生活には困らないが  
学習に必要な日本語が身につかない



- 学校の授業についていけない
- 学校を休みがちになる
- 高校に行きたくても行けない
- 学校をやめてしまう
- 夢が持てない
- 非行に走る可能性が高い

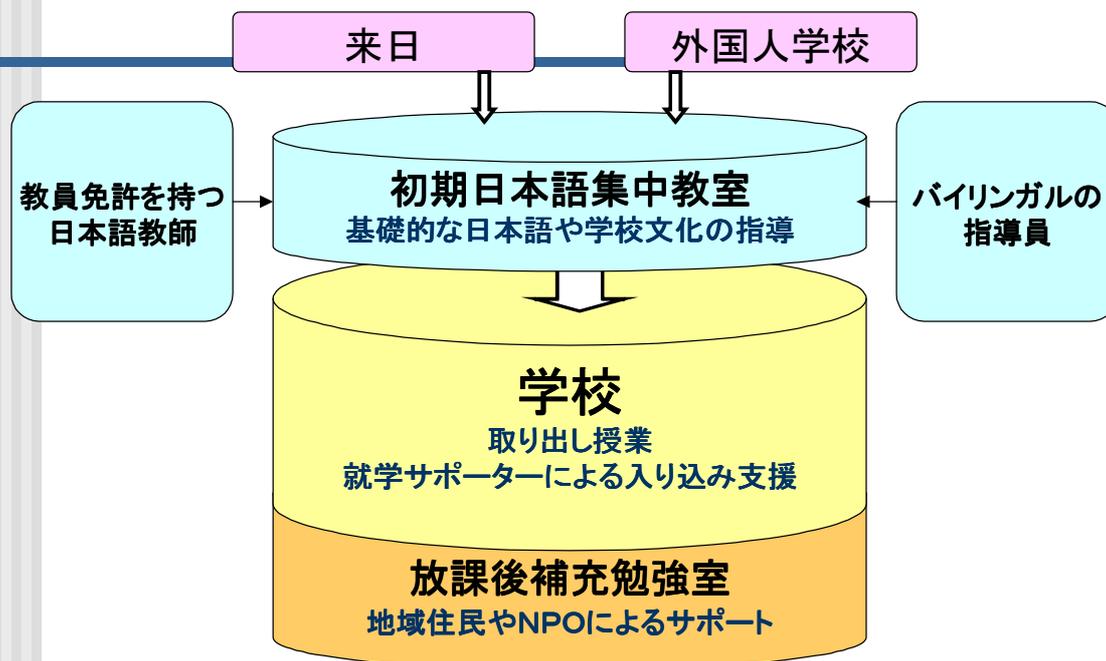
19

## 解 決 策

1. 各集住地域への児童生徒のための  
の初期日本語集中教室設置
2. 学校と地域との連携による放課後  
学習支援
3. 保護者への日本語・日本文化教  
育の強化

21

# 初期日本語集中指導と放課後支援



23

## 初期日本語集中教室とは

基礎的な日本語や学校文化の指導

### 【豊田市ことばの教室の例】

- 月～金 9:00～15:00 学校内に設置
- 日本語の初期指導
  - ◇ 日本語による日常会話
  - ◇ ひらがな・カタカナ・小学校2年生程度の漢字の読み書き
  - ◇ 初歩的な作文・読解の指導
- 教科補習
  - ◇ 基礎的な・学年に応じた算数の学習
- 日本の習慣や学校生活への適応指導
- 保護者の日本の学校への理解・協力の促進

24

## 保護者が日本語や 日本文化を学ぶ場を保証する

7割が日本語学習を希望 ⇒ 学習しているのは15%

- 遠くて不便
- 学びたい時間に教室が開かれていない
- 目的に合った教室がない
- レベルに合った教室がない
- 時間がない

親が日本語を学習するか否かは  
子どもの日本語学習の動機にも直接結びつく

26

## 浜松日本語ネットワーク

ご清聴ありがとうございました

28

